

入学 案内



早友学院



高校受験を
勝ち抜く
知力と気力を
チャージ!!



So, You! 早友学院の特長

① 多彩な受験に対応可能

私立・公立・一般・推薦・自校作成など、様々な入試に対応可能です。勉強が得意な生徒には難関校へ、苦手な生徒には、その生徒にとってベストな高校へ進学できるように受験指導をしています。

② 1科目から5科目まで対応

部活動や他の習い事など、忙しい生徒は、週1日1科目から通塾可能です。授業時間も通常19:15~21:10となっており、中学校生活と塾の両立をサポートします。

③ 定期テスト対策

早友学院では、学校の定期テスト対策に力を入れています。日頃から教科書準拠のテキストを扱い、テスト前には学校のワークや予想問題の演習を行い、習熟を目指します。

④ 自習

自習室は講習会期間中を除き毎日開放しています。質問受付の出来る自習会を随時設置しています。

⑤ 充実の教材データ

定期テスト対応の9科目分のテスト教材、入試過去問、定期テスト過去問など、多彩な教材をすぐにお渡しできるように教材データを整えています。

高校受験コース（中3）

基礎を完全マスターして、志望校もステップアップ

受験最大のポイントは、着実に積み上げた「基礎学力」です。基礎に不安があれば、確実に克服します。少し出遅れたとしても、追いつくことは可能です。早友学院が全力でサポートします。やる気を引きだして維持し続けられるよう、講師陣もご家庭と一緒にになって、第一志望校合格を目指します。



受験教科の得点力を ぐんぐん強化していきます

高校入試に必ず出題される問題のチェック＆マスターをくり返し、あらゆるタイプの問題に対応する能力を確実なものに育っていく一年間です。英語、数学、国語、理科、社会（都立5教科、私立3教科）のすべてについて徹底した復習により苦手を残さず、志望校の過去問演習もくり返します。併せて、40年を超える指導実績から培われた「早友流の受験テクニック」を伝授します。また、受験本番へ向けて志気を高め、実力を発揮するために健康管理も重要です。日々規則正しい生活を心がけ、元気に合格を目指すために、本学院の講師も生徒とご家庭と一緒に一つのチームとして精一杯努力します。気になることは、積極的にご相談ください。



気力を高める「土曜(日曜)／正月／直前」特訓

さらなるレベルを目指して「土曜(日曜)特訓」、入試本番への緊張感を持続させ学習成果を再確認する「正月特訓」、志望校のタイプに応じて入試の傾向をとらえ、厳選した問題に取り組み問題の解き方とテクニックをマスターする「直前特訓」を任意参加のオプション講座としてご用意しています。

部活や他の習い事のある生徒は1科目から柔軟に対応可能です。

選択講座 希望に応じた講座を選択していただけます。

中3	5教科（英語・数学・国語・理科・社会）
	3教科（英語・数学・国語）
	2教科（英語・数学）or（英語・国語）など
	1教科（英語 or 数学 or 国語）
	1教科（理科 or 社会）

カリキュラムなど詳しくは、ホームページ www.see-soyu.co.jp をご覧ください。



高校受験コース（中3）

I期3月開講

II期9月開講

春期講習	3月下旬～4月上旬
夏期講習	7月下旬～8月
冬期講習	12月下旬～1月上旬
進研テスト	3月
Vもぎ	7月・8月・10月・11月・12月・1月
英数特訓	8月
正月特訓	12月・1月

土曜(日曜)特訓/前期 5月～7月

土曜(日曜)特訓/後期 9月～11月

土曜(日曜)特訓/直前 12月～2月

漢字検定 6月・10月

高校進学準備授業 3月

※随時、面談（保護者、生徒）があります。



全員をレベルアップ

公立（都立）校受験で合格を果たすには、教科書レベルの知識をまず確実にして、実戦的な力を養成する必要があります。さらに、難関上位校に合格するには、英単語数は倍以上になりますし、構文も圧倒的に増えてきます。数学でも複数の単元を融合させた複雑な問題が出題されます。各教科で年間に学習する量を確定し、それを月別に定め、節目のテストでチェックして、一定のラインまで生徒全員を引き上げます。

合格 合格体験記（A.Dさん）

私が行きたい高校を見つけたのは、10月頃でした。それまでは目標もなくただ勉強していただけでしたが、「行きたい高校」を見つけてからは必死になって勉強しました。このとき、私はその高校の内申基準に達しておらず、もっと早くから勉強していればよかったと後悔しました。しかし、後悔ばかりしていても仕方ないので、今からでも差を縮めてみせようとした前向きに勉強しました。毎日塾へ通って、苦手な英語を中心にたくさん勉強し、分からぬところは丁寧に教えてもらいました。合格できたのは先生方のおかげだと思っています。ありがとうございました。

合格 合格体験記（N.Oさん）

受験を終えて振り返ってみると、とても短く、密度の濃い期間だったと思います。部活を引退し勉強は定期テスト前にしかしていなかった僕にとって、受験勉強は毎日しなければならず、とても大変でした。夏期講習に耐え、模擬テストを受けると、明らかに学力が上がって喜びと達成感が味わえました。

その後、僕はだんだんと勉強が面白くなっていきました。今までわからなかったことがわかったときの喜び、新しいことが学べる嬉しさ、そんな体験から自然と自習へむかうようになっていました。

受験当日、もっている力を出し切り悔いを残すことなく終えることができました。そして結果発表の日、これまでの努力が認められたと思いつても幸せでした。

5教科選択のすすめ

中1・2年の間は2科目または3科目で通塾していた生徒の皆さんにも中3になったら5科目選択をおすすめしています。都立高校（公立）を目指すには5教科でよい成績を残し、「内申点」を確保する必要があるからです。



第一志望合格を目指します

第一志望校合格は非常に大きな誇りであり、喜びです。第一志望校を大きな声で宣言してください。皆さんの頑張りに加えて、われわれ講師一同が一人一人にあらゆる力を注ぎます。



将来の夢への第一歩です

保護者面談、生徒面談は随時、受け付けています。ご家庭と一緒に、学力を分析し、成績を伸ばす計画を立てながら、将来の可能性を広げていきます。その中で、「自分の夢」や「未来の自分」を真剣に考えるキッカケをつくりります。

中学部の指導方針

目標達成を意識づけする

具体的な到達目標を定めて、一人ひとりが達成できるよう、個別に柔軟な指導をしていきます。

学校の定期テストと内申をUPさせる

学校の成績も大事にします。大目標は高校受験合格、中目標は定期テストの成績UPです。

キメ細やかな学習理解度チェック

学習習慣を身につけるチェックテストに加え、進研テストで学習理解度を確認します。弱点については、その後、弱点対策指導を行います。

季節講習、特訓授業で自覚を高める

春・夏・冬の季節講習会、連休・日曜(土曜)・正月・直前の特訓で、受験生としての自覚を高めます。



学びの継続性

学院生一人ひとりが学習へのモチベーションを最後まで維持できるよう入塾時から隨時きめ細かな進学指導を行います。学力や性格を十分に把握したうえで、学習計画を提案します。

ご家庭と二人三脚

成績推移や学習情報についてご報告し、ご家庭の様子もお聞きしながら、進路選択、今後の学習の進め方など様々な内容についてご相談に応じます。

受験情報の提供

近年激しく変動する入試制度の複雑さに、何をどのようにお子様にアドバイスしていいのか分からぬ保護者の方も多いことと思われます。この親子間のギャップを少しでも取り除くため、最新の入試情報・入試動向についてわかりやすく説明します。また、成績上の問題・受験校の決定についてなど、保護者の方だけでは判断が難しい問題にも、豊富なデータに基づき、的確なアドバイスを行います。

季節講習は大事です

春期講習、夏期講習、冬期講習ではすでに学んだ範囲の復習、新たな範囲の予習を計画的に進めます。学校の教科書の学習内容は数年前に比べてボリュームアップしていますから、先取り学習は大きな意味を持ちます。季節講習は学院の年間カリキュラムに含まれていますので、基本的に全員参加です。

保護者面談

学院では年間を通して、保護者面談を行っております。最新の情報をご提供するとともに、家庭学習の進め方、苦手科目・分野の克服法、メンタル面についてなど、具体的なアドバイスをさせていただきますので、何でもお気軽にご相談ください。



高校受験コース（中2）



部活動も応援します

中学校の部活動では、他では得られない貴重な体験があります。先輩後輩との人間関係や、学習との両立を悩むことも一つの経験です。そのため、一度入部したら、最後までやり抜けるように応援します。学院では、部活動を続けながらでも通えるようにコースを設置しています。

高校受験コース（中2）

春期講習	3月下旬～4月上旬
夏期講習	7月下旬～8月
冬期講習	12月下旬～1月上旬
進研テスト	3月・7月・12月
漢字検定	6月・10月・1月

※随時、面談（保護者、生徒）があります。

I期3月開講

II期9月開講

受験目標を掲げよう

中3内容を学習するためには、どうしても基礎学力を固めておく必要があります。その意味で、受験は間近に迫っているといえます。中2の1年間は、受験目標を探す1年にしてはどうでしょうか。中だるみの克服を第一にして、来年は受験の年。目標をいっしょに探ししましょう。

復習の習慣をつけよう

学習の多くの部分はいかに学んだ知識を確実に定着させるか、がポイントになります。しかし、現実には学んだことは片っ端から忘れてしまいます。忘却曲線で見ると、人は学んだことをその日のうちに70%以上忘れてしまうようです。知識の定着をはかるためには、忘却曲線に抵抗するように何度も何度も復習することが最良の方法ということになります。

定期テスト対策を万全に

中2は定期テストが大目標です。授業がない日でも教室に来て、テスト対策を進めましょう。教室スタッフがサポートします。

選択講座 希望に応じた講座を選択していただけます。

中2	5教科（英語・数学・国語・理科・社会）
	3教科（英語・数学・国語）
	2教科（英語・数学）or（英語・国語）など
	1教科（英語 or 数学）
	1教科（国語）
	1教科（理科 or 社会）

チェックテストで確実にレベルUP

チェックテストを毎回実施して、学習習慣をつくり上げます。くり返すことで学習すべきポイントが明快になり、同時に確かな知識として身についていきます。さらに、学期ごとの季節テストは、数万人規模の「進研テスト」で、全体での位置を確認します。



カリキュラムなど詳しくは、ホームページ www.see-soyu.co.jp をご覧ください。

高校受験コース（中1）



定期テストは準備が必要

小学校のテストは単元内容を学習したすぐ後にテストが行われました。中学校の定期テストは、与えられたテスト範囲に対して、しっかりとした準備が必要です。



週1回1科目から受講可能です

「他の習い事との両立をしたい」、「中1・2の間は部活もがんばりたい」、「まずは苦手科目だけ通いたい」という皆さんのために、週1回1科目から受講可能です。高校受験に向けて、中1の皆さんが必要なことは、「早い時期から勉強を始めておく」、「毎日毎日少しでも勉強する習慣をつける」、「休む時はしっかり休む」、「勉強できる場所を見つける」です。

選択講座 希望に応じた講座を選択していただけます。

中1	5教科（英語・数学・国語・理科・社会）
	3教科（英語・数学・国語）
	2教科（英語・数学）or（英語・国語）など
	1教科（英語 or 数学）
	1教科（国語）
	1教科（理科 or 社会）

定期テスト対策Q & A

Q 何日前から準備をすればよいですか。

A 1週間前からでは間に合いません。最近は学校の定期テストは難化傾向にありますので、2週間・3週間前から始めないと間に合いません。

Q どうしたら点数が取れますか。

A 普段から授業をしっかりと聞くことは言うまでもありません。また、先生が黒板に書いたことはノートに書き写すこと、プリント類はなくさずにとっておくこと。そして、反復が大切です。テスト前のテキスト、ワークは3回繰り返し解きましょう。

Q 早友学院ではどのような定期テスト対策をやりますか。

A 早友学院では全員が80点以上を取ることを目標にして定期テスト対策を行います。教科書の重要事項の記憶の仕方、出題範囲のポイントなどを具体的に指導します。最終的にはそっくり問題で完成させます。

高校受験コース（中1）

I期3月開講

II期9月開講

春期講習	3月下旬～4月上旬
夏期講習	7月下旬～8月
冬期講習	12月下旬～1月上旬
進研テスト	7月・12月
漢字検定	6月・10月・1月

※随時、面談（保護者、生徒）があります。

カリキュラムなど詳しくは、ホームページ www.see-soyu.co.jp をご覧ください。

個別教育(中1~3)

しっかり着実に思考力を伸ばす

希望に応じて、3つのコースから最適な指導スタイルが選べます

1対1から少人数グループまで、希望に合わせて指導スタイルが選べると好評の「個別教育」。きめ細かく徹底した実力養成を目指します。

1for1コース

1対1の完全個別指導。それぞれの得手不得手を講師が正確に把握し、疑問も弱点もその場で解消し、次々レベルアップしていく、徹底した受験対応ができます。

1for2コース

生徒2人に講師1人で、講師対生徒、生徒対生徒の対話もしながら、きめ細かな学習指導を展開。1人よりも競えるライバルといっしょが好きな子にぴったりです。

グループコース

数人のグループでそれぞれの課題に取り組む少人数コース。

友だちといっしょの方がやる気が出る子はこちらを。(3人以上でお申し込みください。)

個別教育



一人ひとりの実力を確実に 伸ばす「個別教育」

早友学院は地域密着型の「小集団指導」で、すべての生徒に目と気持ちが行き届くことを大切にしていますが、さらに万全を期すために「個別教育」の利用も推奨しています。理解不足や苦手を残さず、確実にステップアップしていくためには、一人ひとりの学力と得手不得手を知り、きめ細かく対応して苦手得意に変えていく必要があります。

「個別教育」は、1対1、1対2、1対少人数グループと、それぞれの希望に応じてコースを選べるようにしています。早い段階での基礎学力づくり、入試後半の最終仕上げに、ぜひ、ご活用ください。





無料
体験
受付中

まずは早友学院の授業をお試しください

体験授業を受けることで

教師との相性や教室の雰囲気を確認できます

是非入塾のご参考にしてください

体験授業のご予約はホームページの
申し込みフォームからできます。



漢字検定のすすめ

早友学院は漢字検定の準会場の指定を受けていますので、
2級～10級の試験を受検することができます。学校の定期
テストの合間に学習するのに最適ですし、内申の補完とし
て受検をすすめています。



出席管理をしています

生徒の入退室の時刻をリアルタイムで伝える「入退室メ
ッセージ」と、教室からのお知らせを一斉に保護者のみなさ
んに配信する「連絡メッセージ」機能をそなえる「安心で
んしょばと」を導入しています

東陽教室

〒135-0016 江東区東陽5-31-17 若竹ビル6F

TEL 03-3699-7521 FAX 03-3648-6386

亀戸教室

〒136-0071 江東区亀戸2-45-2 エスピワール亀戸2F

TEL 03-3685-5108 FAX 03-3685-5117

金町教室

〒125-0041 葛飾区東金町1-38-8 トミタビル2F

TEL 03-3600-8343 FAX 03-3600-8993

新小岩教室

〒124-0025 葛飾区西新小岩1-2-8 第1鈴亀ビル5F

TEL 03-3695-3421 FAX 03-3695-3422

瑞江教室

〒132-0011 江戸川区瑞江2-3-15 ソフィアⅢビル4F

TEL 03-3677-2181 FAX 03-3677-2533

押上教室

〒131-0045 墨田区押上1-20-3 S&Sビル3F

TEL 03-3623-7571 FAX 03-3623-7562

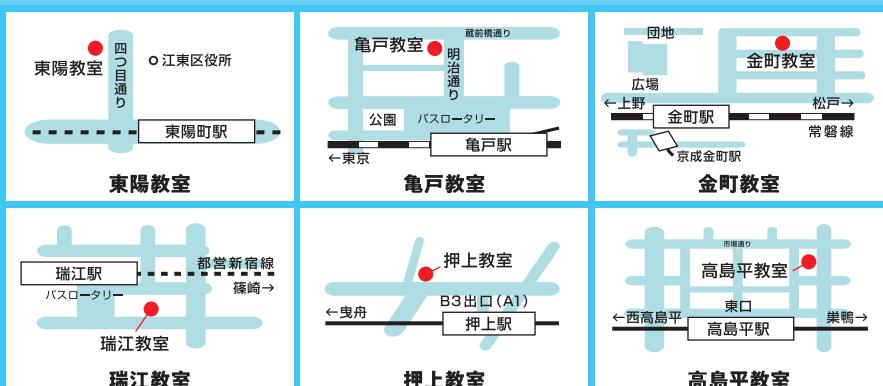
高島平教室

〒175-0082 板橋区高島平8-11-11 SDビル事務所棟301号室

TEL 03-5398-1281 FAX 03-5398-1283

So, You! の教室

7カ所の教室で、地域密着のきめ細かな学習指導を展開しています。ぜひ、近くの教室に気軽に立ち寄りください。



So,
You!

早友学院

そうゆう
早友
で検索
URL www.see-soyu.co.jp

お問い合わせは、フリーダイヤル
0120-170-717

